

## 中野駅周辺まちづくりグランドデザイン Ver.3 (素案) に対する意見交換会等の実施結果について

中野駅周辺まちづくりグランドデザイン Ver.3 (以下、グランドデザイン Ver.3 という) の策定にあたり、素案に対する意見交換会を経て、グランドデザイン Ver.3 (案) としてとりまとめました。

意見交換会等の実施結果および素案から案への主な変更点については、以下のとおりです。

### 1. 素案に対する意見交換会等の実施結果

#### (1) 意見交換会

##### ① 実施日程及び会場

4月19日(木) 夜間 中野区役所

4月21日(土) 午前 野方区民活動センター  
午後 鍋横区民活動センター

##### ② 参加人数

41名

#### (2) 電話で区に寄せられた意見 (人数)

1名

#### (3) 主な意見

別紙1のとおり

### 2. 素案から案への主な変更点

別紙2のとおり

## 意見交換会等における主な意見・要望

区 分	No.	区民からの意見・要望	区の回答・見解
全体に関するもの	1	グランドデザイン Ver.3 では10か年計画の考え方とどこが変わっているのか。	基本的な考え方に変更はない。ただ、新しい要素としては、駅ビルの誘導や、区役所と体育館の配置の再検討がある。
	2	予算や財源のことが書かれていないが、まず出処を考えてから動き出すのではないのか。	グランドデザインは、まちづくりの指針を示したもので、予算や財源のことは書いていないが、区が基盤整備する際には、国や都の補助金、区の基金などの特定財源を確保し、区の一般財源への負担をできる限り少なくすることを考えている。
第1章に関するもの	3	公民協働とあるが、近隣住民の位置づけをどう考えているのか。まちづくりに関して、どのような形で住民は関われるのか。	区民や事業者などとの協働によるまちづくりを進めるタウンマネジメントを推進していくことを考えている。地区計画の策定では地域住民と意見交換を行いながら地区のまちづくりを検討する。
第2章に関するもの	4	業務床や商業床を拡充させてどうするのか。中野セントラルパークでは商業店舗が今秋にオープンのはずだが、今現在のテナントの入居状況はどうか。	業務・商業床が増えていくことで、まちの活性化に繋がると考えている。中野セントラルパークの商業テナントの入居状況は、ホームページに掲載されており、区はそれ以外の情報は得ていない。
	5	「周辺地域と調和のとれた開発による住宅の集積」とあるが、高層マンションがまちに相応しいのか。景観に配慮されているとは思えない。どういう考えか。	既存の優良な住宅地域は保全していく考えである。新たな住宅の供給は、様々な世代に対応した住宅の供給を誘導していきたいと考えている。地区ごとにふさわしい中高層の集合住宅が想定されるが、周辺に公共空地を設けるなど周辺地域との調和を図ることも考えたい。
	6	中野四丁目では、住宅地の隣に大きな箱モノが建設され、環境は悪化した。「周辺との調和」をどう考えているのか。	中野四季の都市（まち）での開発は東京都の都市計画決定の手続きを経たものであり、公園や道路の整備、緑化や公共空地などによる環境配慮によって周辺との調和はとれていると考えている。
	7	中野区の住民のほとんどが区外に通勤していると思う。職住近接実現のため、中野区の住民が区内で働けるにはどうしたらいいか。	業務や商業が集積していき、そこで働く人に中野で暮らしてほしいと考えている。優良な住宅、保育や介護サービスの充実などを通して、職住近接を実現していきたいと考えている。

	8	グランドデザイン Ver.2 の説明会でも医療福祉について追記するようお願いしたが、記述が不十分だと思う。	「最高レベルの生活空間」の中では、医療福祉について触れている。今後、担当所管と連携を図りながら取り組んでいきたい。
第3章に関するもの	9	建物や看板などの色を揃えてほしい。バラバラな色だと景観が汚い。	景観形成の取り組みの中で検討していく。
	10	中野駅地区の地下駐車場、駐輪場の計画は以前とどう変わったのか。	現行計画は変わっていないが、今後、駐車場の分散配置も検討していきたいと考えている。
	11	現在、北口駅前広場は工事中で喫煙スペースはないが、戻さないでほしい。	調整中である。
	12	駅北口トイレ周辺の壁面が新たな改札と合っていない。あわせて塗り替えるべきだ。	ご意見として伺う。
	13	中野四丁目西地区は住宅地だが、住民の立ち退きが必要となるような計画なのか。	「周辺の土地利用と整合」と書いたが、住民立ち退きというような話ではない。駅に近い好立地に相応しい用途に見直すことが考えられるが、その際に必要となる地区計画を導入する場合には、地域の方と十分まちづくりについて協議し、同意をいただくことが前提となる。
	14	区役所・サンプラザ地区の一体整備の内容は、区民には伝わっていない。具体的に伝えてほしい。	区役所とサンプラザの間の道路を付け替えて一体的な敷地として整備をしていきたいと考えている。今後、整備基本構想をとりまとめていく。
	15	区役所・サンプラザ地区の整備では、既にいくつかのプランが出されていたが、どれを採用するのか。	整備のプランは、サンプラザの所有会社であるまちづくり中野 21 が検討したもので、具体的に決定した訳ではない。
	16	サンプラザは日本を代表する建築物で、簡単に壊すような建物ではないので、計画は世間にきちんと公表すべきである。今後、中野におけるサンプラザの位置づけをどのようにするのか考えるべきだ。	中野といえばサンプラザと言えるくらい有名である。これまでの経緯を踏まえつつ、区役所・サンプラザ地区を一体的に整備していく。
	17	サンモール・ブロードウェイ商店街が賑っている理由を考えるべきである。まちづくりを考えるときは、自動車の交通を止め歩行者の空間をつくるべきだ。	歩行者優先・公共交通指向のまちづくりをしていくこととしている。歩行者が安心して買い物ができ、まちを楽しめることを目指したい。
	18	早稲田通りの交差点がなぜあれほど混雑しているのか考えてほしい。	交差点をどのようにして改良するかが大きい。早稲田通りや、もみじ山通りの整備などによって交通の集中を避けたいと考えている。
	19	歩行者・自転車道の整備はどうするのか。	中野四季の都市（まち）の都市計画道路は自転車通行帯があり、自転車と歩行者が分離して通行でき、安全性を

		保っている。他の道路で同様に自転車通行帯を整備するのは難しいが、歩行者と自転車の分離について考えていきたい。
	20	歩道の段差について改善をお願いしても、早稲田通りだと東京都の管轄だからと言われる。どうにか対応できないか。
	21	区役所、体育館などの公共施設配置は重要なので、もっと前面に出すべきではないか。
	22	区役所と体育館の配置を再検討することの基本的な考えを知りたい。
	23	区役所と体育館の位置の変更で区の財政状況は悪化しないのか。Ver.2とVer.3でプロジェクトの完成時期が変わっているが、工事費用に変化はあるのか。また、Ver.3で規模を縮小した部分はあるのか。
	24	中野区は卓球人口が多いのにも関わらず、体育館がとても狭い。人口に見合った広い体育館を建設してほしい。
	25	震災時にボランティアに行った経験から、震災時に区役所がすぐに業務を行えるように、ハード・ソフト両面において対策を充実させてほしい。そこで何うが、区の職員の何パーセントが中野区在住なのか。
第4章に関するもの	26	区のホームページでは、駅西側南北通路と駅施設の完成時期は平成27年頃になっていた。今回の計画では完成時期が延びているが、最終的な完成はいつになるのか。
その他	27	駅周辺の再開発はずっと前から話題になっている。今回も民間に委託して経費を支払ってきているのか。また、今後も経費が発生するのか。

28	中野四季の都市（まち）の道路は、照明が暗くて危ない。	必要な一定の照度は保たれている。
29	中野四季の森公園は殺風景に感じる。また、池はあるがコンクリート製なので、小川のようなイメージのものをつくってほしい。	現在工事中である公園の周辺エリアのオープンスペースも一体になるので印象は変わってくると思う。ただ、新たに小川をつくる計画はない。生まれたばかりの公園なので、ご意見をいただきながら、育てていきたいと考えている。
30	3.11の地震でわかったように高層の建物は危ない。高層マンションを建設しないでほしい。	密集した市街地においては、土地の高度利用を図り、周辺の安全性を確保していくことも必要だと考えている。
31	3月5日号のAERAでは中野四季の森公園が危険な避難場所として特集されていた。ランドデザイン Ver.3はにぎわいに重点が置かれ、安心・安全の要素が少ない。「噂の東京マガジン」でも否定的な意見が出ていた。これも区民の意見の一つと考えてほしい。	中野区役所一帯は広域避難場所に指定されており、安全な避難面積は確保されている。周辺には道路や公園、耐火建築物があり、火災が広がるのを止める機能も持っている。AERAの記事については、定説化されていない推論によって読者の危機感を煽ることは許容できないとして、抗議したものである。
32	これまでのまちづくりの計画では、警察大学校等跡地の防災空間は、3～4ヘクタールと書かれていた。ランドデザイン Ver.3では広さがどうなったのか教えてほしい。	中野四季の都市（まち）では公園や公共空気を合わせ、約3ヘクタールのオープンスペースが生まれる。さらに道路を挟んだ北側にも公園を整備する予定であり、その隣の警視庁の敷地内の広場もあわせて、合計で約3.7ヘクタールのオープンスペースが生まれる予定である。
33	ランドデザイン Ver.3策定に中野駅周辺まちづくり推進会議は大きく関与しているのか。	平成23年度の推進会議ではランドデザイン Ver.3の考え方や論点、構成等を議論し策定を進めてきた。
34	5年後の中野マンガ・アートコート の展望はどうなっているのか。	タイケン学園とは5年契約で昨年度から契約を始めた。桃丘小跡は、中野三丁目駅直近地区まちづくりの事業用地として活用することとしている。

## 素案から案への主な変更点

※変更箇所は下線部分

## 第1章 中野駅周辺グランドデザインの基本的な考え方

No.	該当ページ	案	素案
1	3	1.(2)今回の改定までの経緯  来 <u>たる</u> べき震災に備えて、	1.(2)今回の改定までの経緯  来 <u>る</u> べき震災に備えて、
2	5	2.(1)価値軸を明確にした都市基盤整備  中野駅周辺まちづくりにおける価値軸	2.(1)価値軸を明確にした都市基盤整備  中野駅周辺まちづくりにおける <u>主</u> な価値軸

## 第2章 中野駅周辺の将来像と実現への戦略

No.	該当ページ	案	素案
3	7	これまでの <u>中野</u> のまちの強みを活かしながら、	これまで中野のまちの強みを <u>生</u> かしながら、

## 第3章 中野駅周辺整備の方向性

No.	該当ページ	案	素案
4	21～33	図の凡例を削除した。	削除
5	22	2.(1)中野駅地区  図に、現北口広場の説明を追加した。	追加
6	28	2.(3)中野三丁目地区 整備方針  <u>文化的なにぎわい</u> のまちなみを	2.(3)中野三丁目地区 整備方針  <u>にぎわい・文化</u> のまちなみを
7	28	2.(3)中野三丁目地区 【桃園通り沿い地区、住宅地区】  <u>文化的なにぎわい</u> のまちなみを	2.(3)中野三丁目地区 整備方針 【桃園通り沿い地区、住宅地区】  <u>にぎわい・文化</u> のまちなみを

8	30	<p>2.(4)中野二丁目地区 【もみじ山地区及び千光前通り周辺、住宅地区】</p> <p>中野駅や中野五丁目側へのアクセス経路の整備や、</p>	<p>2.(4)中野二丁目地区 【もみじ山地区及び千光前通り周辺、住宅地区】</p> <p>駅や北側へのアクセス経路の整備や、</p>
9	33	<p>2.(6)道路・交通ネットワーク めざすべき姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>ユニバーサルデザインによる道路環境が整備され、歩行者は安全で快適に通行している。</u></li> <li>● <u>公共交通機関によるまちへのアクセスが向上している。</u></li> <li>● <u>地域への主要な導入動線となる都市計画道路が整備され、道路ネットワークによってスムーズな交通環境となっている。</u></li> <li>● <u>駐車施設の適切な配置により区域内の交通渋滞が緩和され、安全な道路環境となっている。</u></li> </ul>	<p>2.(6)道路・交通ネットワーク めざすべき姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>歩行者優先・公共交通指向のまちとなっており、歩行者は水平・垂直方向ともに安全で快適に通行している。</u></li> <li>● <u>地域への主要な導入動線となる都市計画道路が整備されると同時に、駐車施設の適切な配置により区域内の交通渋滞が緩和され、安全な道路環境となっている。</u></li> </ul>